

2023 - 24 年度 国際ロータリー会長テーマ
『世界に希望を生み出そう』
RI 会長 ゴードン R. マッキナリー

川崎北ロータリークラブ会長テーマ
『希望と夢を、ロータリーから!』
会長 帯谷 昌充

Rotary
川崎北ロータリークラブ

川崎北ロータリークラブ会報



会長 帯谷 昌充

幹事 妻鹿 琢生

会報委員長 大塚 正一

事務所：〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104 TEL 044-722-8037 メール：knrc@nifty.com

URL：http://kawasaki-north-rc.blue.coocan.jp/

例会：毎週水曜日 12：30

二子玉川エクセルホテル東急

第3024例会

令和5年7月19日（水）

（本年度第3回）

点 鐘

帯谷昌充 会長

司会と斉唱

朝山浩 副会場監督

松下幸夫 ソングリーダー

「それでこそロータリー」

出席報告

宮崎秀樹 出席委員長

会員数47名 (対象外6名)	出席28名	欠席19名 出席率68.29%
-------------------	-------	--------------------

前々回訂正 (対象外4名)	欠席16名	MAKE UP 2名 訂正出席率75.61%
------------------	-------	---------------------------

お客様紹介

帯谷昌充 会長

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー 樋口明 様

国際ロータリー第 2590 地区 第 2 グループ ガバナー補佐
鈴木正紀 様

鷺沼 RC 小川湧三 様

会長報告

帯谷昌充 会長

1. 本日例会終了後、全会員参加にてクラブ協議会を開催いたします。

委員長からの活動計画の発表のほか、会員の皆様からの忌憚なきご意見を伺いたいとの樋口ガバナーからのご要望でございます。例会に引き続き、同会場に行いますので、ご出席のほど重ねてお願い申し上げます。

終了は、最終 15：00 を予定しております。

幹事報告

妻鹿琢生 幹事

1. 地区からの来信

①「ロータリー財団学友会プレゼンツ・アカデミックシリーズ 2023」開催のご案内が届いております。

日時：2023年8月26日（土）13：00-16：30

場所：パシフィコ横浜会議センター 3F 315

対象：学生とその保護者 先着 100名

参加費：無料

※将来留学を検討しているまたは留学に興味のある方は勿論、学生であればどなたでもご参加頂けます。詳細は、チラシをポスティングしましたのでご覧ください。

2. 活動計画書をお送り頂きましたので回覧いたします。

川崎西 RC、川崎高津 RC、川崎中原 RC

3. 他クラブ会報の回覧

川崎中原 RC

4. 他クラブ例会臨時変更

横浜南 RC 7月29日（土）夜間例会

8月12日（土）休会

川崎中央 RC 7月24日（月）納涼夜間移動例会 屋形船

7月31日・8月14日（月）休会

委員会報告

半澤剛 インターアクト委員長

先週7月14日、クラーク記念国際高等学校横浜青葉キャンパスに訪問いたしました。私は初めて例会に参加したのですが、私どもの松山委員長、横浜あざみ野 RC 会長の3名で参加をさせていただきました。どういふことをおやりになっているのかを見ていましたら、ウクライナにカンパをするためのご寄付を集めようと、放課後に募集箱をつくったり、たまプラーザ駅前でも4回にわたって募集の呼びかけをしようと計画を立てたり、6名の会員の受け持ちを決めたりと、約1時間かけて打ち合わせをしていました。8月2日にサマーミーティングが開催されるそうですが、そこには全会員が参加するそうです。私どものクラブからは、私はもちろん加瀬さんなど3名で参加をするつもりです。

松田卓也 親睦委員長

ニコニコで電子決済を導入しましたのでお知らせいたします。受付のところに電子決済の機器があります。交通系 IC であったり、JCB に限られますがクレジットカードで決済できるようになりました。受付でおっしゃっていただければ、決済端末で決済できるような形になっております。

目録贈呈

石坂想 ロータリー財団委員長

波木井輝昭 米山記念奨学委員長

ロータリー財団委員会および米山事業推進委員会より、樋口ガバナーへ目録の贈呈が行われました。



ガバナー公式訪問卓話



第 2590 地区

樋口明ガバナー

国際ロータリー第 2590 地区、今年度ガバナーを仰せつかりました神奈川ロータリークラブの樋口明でございます。川崎北ロータリークラブの皆様方には、1年間大変お世話になります。どうぞよろしくお申し上げます。

皆様方のお手元に資料を配付してございますけれども、その前に、RI 会長のテーマについてお話をさせていただきますので、しばし資料ではなくて、私の方に注目していただきたいと思っております。今年度の会長はゴードン R. マッキナリーという方で、スコットランドの歯医者さんでございます。そして皆様によく言われるのですけれども、このネクタイ、我々

の趣味で選んだわけではございません。本日、私は電車でここに参りましたが、なかなか電車の中で付けるのも勇気がある柄です。そのうちに慣れてくるのではないかなと思いますけれども、この色には意味があります。ゴードン RI 会長の地元スコットランドに、著名な芸術家でありますジョン・ローリー・モリソンさんという方がおられるそうですが、その方が好んで使われる色使いとのことでございます。この色は世界を表しているそうなんです。この色使い、世界民族多様性を意味しているそうです。それにインスピレーションを得まして、ゴードン RI 会長が今年度の RI の公式のネクタイにしたということでございます。私は、今年の 1 月に 1 週間ほどアメリカのフロリダで行われた国際教育会に行っていました。これは、今年度のための勉強会合宿みたいなものですが、ゴードン RI 会長が登場するときに、このネクタイを締めて登場されました。そのときに初めて、次年度のネクタイがどういう柄か、デザインか、というの分かるんですけども、私、結構前の列で参加していたんですけども、まずネクタイに目が行ってしまいまして、話の半分ぐらいは気もそぞろというか、あのネクタイを 1 年間締め続けなければいけないのかなんて思いながら、ゴードン RI 会長の話を聞いていました。

そのゴードン RI 会長の話でございますけれども、キーワードは 2 つ。「継続」と「変化」。「継続」に関しましては、以前のリーダーたち、先達たちの良い考え良い行いを引き続き「継続」して、それをさらに発展していきましょうというお話です。皆さん御存じのとおり、ロータリーは単年度計画でございますので、なかなか今までのことを「継続」してやっていきましようとおっしゃられた RI 会長は少ないと思うんですけども、まず最初にキーワードとして、「継続」という話をされました。「継続」の中でもローターアクトの地位向上ですとか、女兒にエンパワメント、そして DEI、ポリオの根絶について話されたのですけれども、特に強調されたことが DEI でございます。企業の皆様方、経営者の皆様方には DEI に関する考えというのは一般的な行動規範になっていると思っておりますけれども、ロータリーでも 2019 年の 1 月の理事会で、DEI を推進していこうということで決まっております。もともと 5 つの中核的価値観というもの、我々ロータリアンには根付いております。それは奉仕、高潔性、多様性、親睦、リーダーシップの 5 つでございますけれども、それに加えて DEI を追加して行動規範としようというものでございます。今更また、改めて言うことではありませんけれども、D は Diversity。多様性という意味です。全て門戸を開放するという。そして E は Equity。公平性ですね。誰もが公平で大切にされる環境であること。I は Inclusion、これは包摂性ですとか、多様性の受け入れとか訳されていたのでございますけれども、訳がしっくりしないということで、国際ロータリーでは「インクルージョン」で統一しております。多様性を受け入れ、互いに認め合い、皆が活躍できる環境ということでございます。この DEI を全てのクラブで、川崎北クラブさんを始め全てのクラブで、絶えず、特に会長幹事はそういった環境になっているかということを確認して、それをより深めて皆さんに理解していただきましようということで、DEI に関しましては、ものすごくゴードン RI 会長は強調されておられました。

そしてポリオの根絶でございます。ポリオの根絶は御存じのとおり、国際ロータリーの最優先事項プログラムでございます。今年度の 2 月までは、ポリオは発生していませんでした。アフリカで 5 例、そしてパキスタンで 1 例、計 6 例でございますけれども、野生株による罹患発生感染が出てしまいました。感染者が 0 になってから 3 年を経ないと根絶宣言ができないんですけれども、今年度も発生してしまいましたから、引き続きポリオの根絶を皆様にお願ひするわけでございます。日本では 1980 年以降、感染者が出ておりません。日本ではポリオ感染が出ていないのに、何でそんなにポリオ根絶に協力しなければいけないのか、ということをよく聞かれるのでございますが、1985 年に、正式にロータリーの最優先事項プログラムとなりました。これは、1985 年にロータリーと、世界の子供たちと

の約束なんですね。ですから、根絶するまで、根絶宣言ができるまで、ロータリーはとことんポリオ根絶のために、子供たちのために働きかけるという行動するというは、子供たちとの約束でございますので、皆様どうぞポリオに関しましては御理解いただきまして、今年度も一人当たり 30 ドル以上のご寄付をお願いしておりますので、御協力いただきたく思っております。

次は持続可能な「変化」。「変化」に対しての言及となりました。まず「変化」に関しましては、世界にもたらす「変化」と、自分自身の中での「変化」ということを話されまして、世界にもたらす「変化」に関しましてはウクライナの支援ですね。ウクライナ支援のみならず、ロータリーは、これから人道支援をもっと徹底していくということで、とにかく平和に更なる主眼を置くということをはっきりと話されました。

そして、2 点目でございますけれども、自分自身の中での変化。これは大塚公共イメージ委員長にもお願いしまして、オンライン目安箱というのを地区でも作りまして。メンタルヘルスについて取り組んでいこう。なかなかメンタルヘルスは簡単に解決できるような問題ではありません。ものすごく難しい問題でございますけれども、ゴードン RI 会長の弟さんが自死されたということもあると思われまますが、今問題になっておりますメンタルヘルスについて、ロータリーとして取り組んでいくことが大きなテーマの一つとなっております。

先ほど申し上げましたけれども、地区としては、オンライン目安箱の設置。それは皆様方が抱えている悩みですとか、あるいはもうちょっと噛み砕いて言いますと地区に対する質問ですとか、不平不満ですとか、そういったことでも何でも構いませんので、無記名で投稿できる目安箱をこのたび開設いたしました。メールアドレスだけは分かってしまうんですが、そういった皆様方から心の声ですとか、それらを受けとめる、そういったものをつくりました。それをもとにオープンディスカッションを開いたりとか、あるいは案件によっては、個別にカウンセラーの人からその方にいろいろとコミュニケーションをとるとか、そういったことをやっていきたいと思っております。そしてもう 1 点、先ほどニコニコでもビール同好会というのがありましたけれども、地区でも同好会を開設いたしました。それはクラブの垣根を越えて、ひとりでも多く仲間をつくりましようという趣旨でございます。「射撃同好会」と「トレッキング同好会」というのができましたので、ぜひ御興味のある方は、趣味の世界でクラブの垣根を越えてお仲間をどんどん作っていただきたいなと思っております。

ゴードン RI 会長の締め言葉といたしまして、とにかく平和は希望を根付かせるための土壌であると、そして我々が得意とする継続することと同時に、変化に対してオープンで前向きになって、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げれば、よりロータリーは平和で希望のある未来を築くことができるでしょう。ということで、そのフロリダのスピーチの最後に手を合わせて皆さんが「よろしくお願ひします」と頭を下げたんですけれども、その時もやはりそのネクタイの方に目が行ってしまいました。「Create Hope In The World - 世界に希望をもたらそう」というのが、今年度のゴードン RI 会長のテーマでございます。

そのテーマにのっとりまして、今年度のガバナーテーマ、そして地区方針を策定したわけでございますけれども、その前に皆様にお配りしてございます資料を見ていただきたいと思っております。

地区方針の説明の前に

Rotary District 2390

Service = 奉仕?

Service (サーヴィス) の知識ある奉仕は、果たして正しい奉仕なのか?

奉仕とサーヴィスの違い

【奉仕】 損得を抜きで尽くすこと。見返りを求めない。

利益を求めないので、商売にならない。

「奉仕」あたり前です。ロータリーソングにも「奉仕の理想」という歌もありますし、「奉仕活動」を代表し、「奉仕」という言葉は当たり前のように使われ

ておりますけれども、戦前、米山梅吉さんですとか、井坂孝さんの時には「奉仕」という言葉が一切出てこないんですね。その時には、「サーヴィス」、カタカナで、ウに点々ですけれども、サーヴィスという言葉が使われておりました。今は「奉仕」という言葉にサーヴィスという片仮名を当てているところは目にすることは無いと思いますけれども、果たしてこうした「サーヴィス」というのは「奉仕」と同じ意味かということでございます。改めて「奉仕」という言葉を調べますと、「損得抜きで尽くすこと、見返りを求めない」という意味でございます。損得抜きで尽くすこと、そして見返りを求めないということは、「奉仕」では仕事ができないということですね。「奉仕」をしていたら、見返りを求めないわけですから、利益も上がりません。利益を求めないので商売にならないということでございます。それに対して、「サーヴィス」でございますけれども、「サーヴィス」は work, duty, assistance, help, support と同じような意味でございますけれども、働き、勤め、営み等々、奉仕よりもはるかに概念が広いわけでございます。日本語に訳すと、「人の役に立つこと。貢献すること。提供すること。人のためになる行為全体を示す」という意味になります。ロータリーでは、「サーヴィス」が利益を生む、One Profits Most Who Serves Best もそうですけれども、「サーヴィス」することによって利益を生む、「サーヴィス」によって収入を得ることは、合法的かつ道徳的であるということでございます。

もっとも、阿漕なことをして暴利をむさぼるなんてことはあってはならないわけでございます。ですから、中核的価値観にもございませぬけれども、ロータリアンは、高潔さと高い倫理観が求められる。それをロータリーに入って日々学んでいるというわけでありませぬ。ロータリアンはそうではなくてはいけないということでございます。

ということで、本来「サーヴィス」と「奉仕」は、明確に意味が違うということです。では、なぜ「奉仕」になってしまったかといいますと、はじめは The Ideal Of Service (サーヴィスの理想的な原理) の訳でございますけれども、米山梅吉さんは「サーヴィス理想」と訳して、井坂孝さん、横浜ロータリークラブの創始者でございますけれども、「サーヴィスの観念」と訳しておりました。「サーヴィスの理想」ですね。それが1934年、日本が戦争にどんどん向かっていった時代でございます。外国語禁止提案ということで、この「サーヴィス」を使わないで「奉仕」という言葉で充てたということで、ここから「奉仕の理想」になっていたわけでございます。その後、ずっと「奉仕」、「サーヴィス」が「奉仕」に書きかえられて、2012年に「奉仕の理念」という風になっております。

ここで、サーヴィス/奉仕の一番わかりやすい非常に有名なスピーチをご紹介します。井坂孝さん、横浜ロータリークラブの創始者であり、第2代国際ロータリー70区、日本は当時70区と言っていたんですけども、米山梅吉さんに続いて2代目のガバナーを務められた方でございますけれども、その井坂孝さんが1933年の2月22日、ロータリーの誕生日が2月23日でございますので、その28年目の前日ですね。それを祝して合同例会が行われたのだと思っておりますけれども、そのときのスピーチでございます。

「人間は孤独の生活ができない群居の動物であります。群居しておりますから、人と人との関係が起これば、自分の都合ばかりを考えているわけにはまいりませぬ。したがって、群居の状態をよくするためには、各自が人のために役立つということを考えなければなりません。人のために役立つということは、英語でいうサーヴィスでありませぬ。ロータリーはサーヴィスをもって人間活動の根本観念となさんとする運動であります。この運動を達成する目的を持って、実業人が集って自己の業務をもってサーヴィスをなさんと組織された団体がロータリークラブであります。」

実にわかりやすいスピーチでございます。本当はもっと長いスピーチなんですけれども、抜粋しまして一番わかりやすいところを紹介させていただきました。言葉にこだわっていらっしゃる方は、「奉仕」という言葉を全て「サーヴィス」に

変えようなんて頑張っている方もいますけれども、現実問題として、これだけ「奉仕」が当たり前のようになっているわけでございますので、それを今さらサーヴィスに書き換えるなんてことは無理でございます。ですから、皆さま「奉仕」という言葉が出てきましたら、ロータリー用語としての「奉仕」は「サーヴィス」の本来の意味である。人の役に立つこと、貢献すること、提供すること、と解釈していただけますと腑に落ちるのではないかと思います。ロータリーで「奉仕」ということができたなら、損得抜きで見返りを求めないことではなくて、人のために役立つこと、貢献すること、と解釈していただきたいと思っております。

今年度の地区方針について御説明させていただきます。

「先達を敬い、未来を見据えて行動しましょう！」というテーマにさせていただきました。まずは先達が築き上げた土台について理解を深めましょうということでございます。ロータリーは来年の2月23日で118年になります。118年という

長きにわたってロータリーが続いているということは、やはりベースがしっかりしていないと継続するはずもありません。そのベースは先達が築いてくださった主に6つの項目について挙げさせていただきました。本当はもっとたくさんあるのですが、これだけは抑えていただきたいという6つの項目を挙げさせていただきました。

- The Object of Rotary (ロータリーの目的)
- 2つのモットー、Service Above Self (超我の奉仕) と One Profits Most Who Serves Best (最もよく奉仕するものは最も多く報いられる)
- The FOUR-WAY TEST (四つのテスト)。この「四つのテスト」を当地区の全会員の皆様方に配布させていただきました。これは職業的なチェックポイントというのみならず、私生活、職業生活、そして社会生活における指標になる素晴らしいものでございますので、ぜひご自宅あるいはオフィスの目立つところに貼っていただきまして、日々この「四つのテスト」を確認していただきたいと思っております。
- Core Values (中核的価値観)、先程申しました、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ。
- Resolution 23-34 (決議 23-34) でございます。これは皆様、23の34という言葉は聞いたことはあるかもしれませんが、これも、1923年の国際大会の、34番目の決議事項ということで、23の34ということになっております。アメリカのセントルイスで行われた国際大会の時なんですけれども、これはなぜ意味があるかといいますと、当時、団体による奉仕として障害児を支援しようということで、みんなで障害児を支援する施設をつくったりするべきだという考え方。言うなれば、We serve 団体奉仕を推進しようという考え方。一方、ロータリーはサーヴィスの理想を追求して、家庭で職場で社会で磨き高めた自分を広めていこうというか実践していこうという、言うならば「I serve」と言われていますけれども、そ

の方たちの考えが衝突いたしまして、分裂の危機に瀕しておりました。そこで、それを解決する決議というわけでございますけれども、この決議は何が重要かといえますと、ロータリーとはどういうものかということをはっきりと明確に指し示したわけでございます。有名なのが第1条でございますけれども、ロータリーは一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びそれに伴う人のために奉仕しようという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。その哲学は「Service Above Self」であり、「One Profits Most Who Serves Best」という実践的な倫理原則によるものであるということを明確に指し示したわけでございます。ですから、ロータリーが人生哲学であり、それに向かって我々は日々研さんしているということ。そしてもう1点は、大きなところは団体奉仕はそれでは否定したのかといえますと、そういうわけではありませんが、団体奉仕、みんなで一緒に奉仕活動をやっていこうというのは、研究室の内実験という位置づけでございますけれども、それに固執してずっと続けていくという当時ですけれども、位置づけで団体行動も認めた。そしてそれが規模が大きくなったときに、地元の商工会議所ですとか、そういったところにそれは移管していきましようねということで、この1923年の34番目の決議のところまで決めたんですね。それが単なる歴史的な文書というわけではなくて、今でも公式文書としてロータリー章典に残っているわけでございます。ですから、これが本当に何て言うんですかね。過去にこういうことがあって100年前に言っていたことではなくて、今も息づいている。大事なこの決議ということで、皆さん理解していただきたいなと思っております。そして、最後ガイ・ガンディカーさんですけれども、これはやはり100年前の1923-24年度のRI会長で、A Talking Knowledge of Rotary (ロータリー通解) というロータリーで初めてのテキストブックですね。倫理観を高めて真のロータリアンになろうということをもとめられた方でございます。この方は、1923年の9月1日に発生しました関東大震災のときに、RI会長でらして、どこよりも早く2万5000ドルの義援金を送金してくださった方でもあります。ということで、この6つの項目をご紹介しましたけれども、何も皆様にロータリー博士になってくださいなど言っているのではありません。やはりベースをしっかりしないいろいろな奉仕活動というものは何て言うんですかね。基礎がしっかりしていない建物のようで、なぜその奉仕活動をしなければいけないのかとか、そういったことがないと長続きするわけではありませんで、まずこの基礎をしっかりと固めていただきたいなと思っております。

先達を敬い、土台を固めましょう！

Rotary District 2590

ロータリーの先達が創り上げた土台についての理解を深めましょう。

- The Object of Rotary (ロータリーの目的)
- Motto of Rotary International(国際ロータリーの公式標語)
Service Above Self (超我の奉仕)
One Profits Most Who Serves Best (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)
- THE FOUR-WAY TEST (四つのテスト)
- Core Values (中核的価値観)
Fellowship (親睦)、Integrity (高潔性)、Diversity (多様性)、Service (奉仕)、Leadership (リーダーシップ)
- Resolution 23-34 (決議23-34)
- ガイ・ガンディカーのロータリー観 等

先月ロータリーガイドブックというものを皆様に配布したと思えます。茶色っぽいような表紙のものでございますけれども、ロータリーガイドブックにこの辺のことはしっかり載っておりますので、ロータリーガイドブックでぜひ勉強とか調べていただければなと思っております。もう時間になりましたので、続きはクラブ協議会で話をしますけれども、ロータリー、我々、私、そして地区のメンバーは、皆様がロータリーに入ってよかったと実感していただきたい。その一心でやっているわけでございます。それでないと意味がありません。ロータリーは知り合いの集まりではなく、友人の集まりと言われています。皆さんもぜひですね、ロータリーのことをもっ

と知りたい、そしてもっともっと皆さんの仲間のことを知りたいという一声というか、それでロータリーライフを楽しんでいただき、実りあるものにしていただきたいと思っております。では、引き続きクラブ協議会でお世話になりますけれども、よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

ニコニコレポート 峯岸雅宏 副会場監督

第2グループガバナー 樋口明様

本日は公式訪問でお世話になります。よろしくお願い申し上げます。川崎北RCの益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心からお祈りいたしております。

第2グループガバナー補佐 鈴木正紀様

本日は、ガバナー公式訪問で伺いました。実りあるクラブ公式訪問協議会でございます。よろしくお願い致します。

鷺沼RC 小川湧三様

お世話になります。

帯谷昌充会長、大塚正一副会長、妻鹿琢生幹事

樋口ガバナー、鈴木ガバナー補佐、本日は暑い中ようこそお越しくださいました。クラブ協議会よろしくお願い致します。

川野正久君

樋口ガバナー公式訪問大歓迎です。暑さ厳しき折、健康に気をつけて下さい。

クラブ奉仕委員会：大塚正一君、戸川俊雄君

樋口ガバナー、鈴木第2Gガバナー補佐、ようこそ。一年間大変だと思えますが、ご自愛ください。

親睦委員会：松田卓也君、丸山久君、クルーズ由美子君、

土田高記君

樋口ガバナー、鈴木ガバナー補佐、本日は暑い中お越し頂きありがとうございます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

青少年奉仕委員会 (インターアクト委員会)：

半澤剛君、クルーズ由美子君、松山直樹君、戸川俊雄君

樋口ガバナー、鈴木ガバナー補佐、本日はようこそいらっしゃいました。1年間しっかりご指導いただけることを期待とうれしさで一杯です。

研修委員会：松下幸夫君、半澤剛君、谷口一成君

樋口ガバナー、鈴木ガバナー補佐、本年度よろしくお願い致します。

会員増強委員会：谷口一成君

本日はガバナー公式訪問例会です。樋口ガバナーようこそ川崎北RCへお越しくださいました。一年間よろしくお願い致します。

プログラム委員会：横山芳春君

樋口ガバナー公式訪問ご苦勞様です。ご指導の程、よろしくお願い致します。

SAA：峯岸雅宏君、丸山久君、加瀬健史君、朝山浩君

①樋口ガバナー、本日の公式訪問卓話楽しみにしております。
②鈴木ガバナー補佐、お疲れ様です。よろしくお願い致します。
③ニコニコ基金への皆様のご協力を宜しく願いいたします

クルーズ由美子君、波木井輝昭君、米山元章君、佐久間薫君

樋口ガバナー、鈴木ガバナー補佐、本年度はよろしくお願い致します。

米山記念奨学委員会：波木井輝昭君、クルーズ由美子君

樋口ガバナー、ようこそいらっしゃいました。

ビール同好会：柳沢信夫君、大部哲也君、戸川俊雄君、

宮崎秀樹君

樋口ガバナー公式訪問ですね!! 樋口明ガバナー、第2グループガバナー補佐 鈴木正紀様、本日はよろしくお願い致します!

吉田宏宏君、武田信平君

7月15日Jリーグ第21節、フロンターレは首位の横浜Fマリノスと敵地にて戦いました。前半はマリノスに主導権を握られるも、後半に入りペースを取り戻し、70分にはPKを獲得。PKは失敗したが、その後も攻め続けアディショナルタイムに劇的な得点で勝利。気持ちの入った素晴らしい試合でした。今週は、首位に返り咲いた神戸と戦いますが、連勝して欲しいですね。尚、12日に行われた天皇杯は、水戸を2対1で破りラウンド16に進みました。